

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2673000127		
法人名	三菱電機ライフサービス株式会社		
事業所名	長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)		
所在地	京都府長岡京市奥海印寺三段畑8-1		
自己評価作成日	平成24年1月30日	評価結果市町村受理日	平成24年6月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆったりと穏やかな生活を楽しんでいただけるように、お一人お一人の生活のリズムやペースを大切にしている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2673000127&SCD=320&PCD=26
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成24年3月23日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・地域に住む者として地域活性化に一役かきたいと地元の農作物を買いにでかけたり、近所のパン屋さんで販売している「地域の名前のついた食パン」を購入しにしている。その主旨を大切に、職員は同行している。近所の方々と挨拶をすることを大切にしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・運営推進委員会には、地域の代表の方の参加もあり意見を聞くこともでき交流がある。 ・地域の神社のお祭に参加したり、初詣、ガラシャ祭なども楽しみになっており、いろいろな地域の行事を大切にしている。定期的な幼稚園児さんとの交流も楽しみにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・中学生の体験学習や乙訓障害者事業団の実習受け入れなどにより地域の方々向けの認知症の理解や支援の方法を伝えている。また地域の講演等も受け入れる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進委員会を通じユニットの状況、日々の様子を伝えている。 ・ご出席いただいた市職員の方や地域のご家族の方からいただいたご意見を参考にサービスの向上をめざしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・地域の会議には管理者が参加し、運営推進会議には行政の高齢介護課長に出席してもらい、常に連携体制で協力し合える関係である。講演会や研修のお知らせがあり、職員は時間をつくり参加し、参加後はユニット会議で研修として他の職員と内容を共有している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議や研修を行い職員全員が身体拘束はしない実践を周知している。職員間で注意しながら声かけのあり方にも身体拘束に繋がらないよう、利用者の安心安全に万全を尽くす工夫をしている。 ・言葉による拘束については常に確認しあう。 ・転倒防止や事故予防を優先しすぎて、利用者の行動を抑制することのないよう、起こりうる事故を予想しての環境の整備や見守り方心がけている。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議で、身体・言葉の虐待について研修をおこなっている。 職員の精神面、身体的ストレスが、ケアに影響しないよう、自己管理を促している。 ・利用者の行動を急がせたり、励ましの言葉が負担にならないよう言葉使いをの配慮をしていく。また虐待にならないよう職員間での話し合いを大切にし、いろいろな視点から見る目を養い、利用者の言葉や行動に対して一方的な見方や先入観で対応せず、言葉や行動の背景を理解し穏やかに日々を送っていただけるように努めている。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットに一名が、成年後見制度を利用されている。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居本契約の前に見学やお試し入居ができ、本人や家族の意思による入居につながっている。 ・ご本人やご家族の希望やご意向を伺い、不安なく入居できるように配慮する。制度改正などについてはその都度説明をおこなう。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 言葉だけでなく、表情、態度から不安な気持ちや不満な様子がみられた時には1対1になる時間を作り傾聴する。ご家族が面会にこられた機会を大切に、ご意向をうかがい、援助計画にとりいれている。 		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が身近におり、職員は相談出来る環境にある。相談する事で解決の道を見つけることができる。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・業務の見直しをし介助量、時間の使い方、職員間の声掛けの必要、再確認しながら工夫を続けやりがいのある職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員の勤務体制に制約の中で、様々の研修に参加し状況の提供をもらいながらユニット会議での30分の研修の場を設け、学んだことは共有しケアに生かせるよう努める。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・研修会に参加し、交流や情報交換の機会を得て、自身の糧として自己向上のきっかけにしていく。 ・同業者と交流することで課題への意識を深めることもできる。学んだことはユニット会議で共有し、ケアにいかしていく。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・ご本人の揺らぎや不安に寄り添い、今の心境を受け止めた上で、今後どのようにすごしたいか、気持ちと心を感じながら今その人にとって何が一番必要か一緒に考えていく。 ・入居時の一週間のカンファレンスと1ヵ月後のモニタリングを評価した上で、生活援助計画の見直しをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・事前面接では、ご本人の面接とは別にご家族の思いもしっかり受け止める機会を設け、ここで生活することに安心がもてるように、ご家族と相談しながらご本人を見守っていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談を受けた時は、じっくりと傾聴させてもらい、何を支援させていただくのか、明確にし速やかに対応できるように努めている。今まで生活され、大切にしてきた趣味・馴染みの関係が維持できるように支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・人生の大先輩として敬意、経験から生まれた知恵を教えていただきながら本人の気持ちを大切に、できることの継続を大切にしながらできなくなったところを支え、喜怒哀楽を共にしながら、一緒に生活を作っていく関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・面会にこられた際には、ご本人とともに喜び、笑顔で迎え入れられている。ご本人のありがたい姿、あってほしい姿などを話を聞いたり、相談しながら、ご本人のよりよい生活の支援を支えていく関係になれるように努力している。日々の生活の様子を伝え現状変化への対応と一緒に考えていただき、本人を共に支えられる信頼関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ドライブで住んでおられた地域をまわったり、選挙に投票しに行ったり大切にされてきた人、地域との人付き合いを共に大切にしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・午後のひとときに、歌を歌ったり、しりとりをしたりと人と人とのふれあいを大切に、利用者同士のつながりを深める工夫をしている。 ・座る場所にも気を使い楽しく過ごしていただけるように工夫している。 ・利用者同士のよい面が互いに見えるような関係に配慮したり、中に入って関係の橋わたしをしたりしている。 ・互いの関係が支えられ、温かみのあるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退去される理由は、入院の方、転院のやご家族の近くの施設に転居されるケースが大半であるが、ご家族とともに、転院先や転居先と利用者の今後に向けて相談や情報を伝えるなど支援及び連携に努める。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の会話や行動、表情から、何を求めているらっしゃるか読み取り希望や意向の把握に努めている。時間による変化にも留意し穏やかに過ごせるように配慮している。 ・外出することにより、普段見られない表情を見られたりして新しい気づきがある。 ・職員は、自分の気づいたことをユニット会議で出し合い共通の理解に繋げている。		

長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・初期面接の記録などをもとに日頃の会話や行動の中から聞いたことなどをユニット会議等を出し合いその方の全体像に近づく努力をしている。 ・色々な話題を提供し、会話の中からご家族への思い、故郷の思い出、趣味などを伺うことができる。そういう機会をたいせつにしながらケアに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・心身の状態については申し送り等により24時間の変化をとらえる。快の時間、不安の多い時間をとらえることで早めの対応を試みている。 ・残存能力の把握に努め、維持する工夫をしている。 ・レクリエーションの内容も工夫して有する力を楽しみにかえる努力をしている。 ・朝食後にバイタルをとる。顔色などから健康状態を把握し、入浴や活動のめやすにする。発熱など特変時には申し送りによる様子観察を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケアプランに添って、カンファレンスで現状を出し合い具体的な援助方法を確認する。ご家族にご意見やご希望をうかがいながら、よりよい支援の為の計画を作成している。 ・医療面については訪看、かかりつけ医の意見を参考にしている。 ・毎月のモニタリングを行い、次の援助計画につなげる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・援助計画をもとに援助した記録を書くと共に、その時の様子また新たに気づいたこと、快、不快などを会話を織りこんだりしながら記録し、よりよい実践のための努力をしている。またカンファレンスで気づいたことをスタッフ間で共有し、援助計画の見直しを3ヶ月に1回は実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・併設の訪問事業所の方から福祉用具の紹介などの情報の提供などを頂いたり、在宅での方法や工夫などを伺い参考にしている。		

長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・社会福祉協議会や諸団体とのネットワークは密であり、地域の取り組みやボランティアさんとのつながりは深い。 ・書道の会や絵の会、ポップバンドや園児さんの訪問など、地域の方々に支えられ、楽しみを広げている。 ・地域の広報誌による情報のとりこみで、クラシックバレエやオーケストラの集いに参加し喜びにつながった。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居前にかかっていたドクターをそのまま引き継いで訪問診療をしていただいている。地域医師会や地域の訪問看護ステーションのつながり、また各関係機関の連携により、ひとりの利用者に対する相談や処遇改善に努めている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・2週間に1度の訪問看護があり、健康管理の相談や体調不良時の見守り方や留意点などを相談している。日常にも健康管理の相談や受診の判断の相談をしながらケアに繋げている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院中の状態などご家族に聞いたりしながら、退院のうけいれに必要なことの情報をお院関係者より得たりして、退院後の不安を少なくし安心して生活していただけるよう配慮する。またお見舞いに行くなどしてご本人の気持ちにより添う。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・終末期をむかえるにあたってのご本人の希望やご家族の意向をかかりつけ医とともに確認し、書面に表わしている方もある。ご本人やご家族の意思を尊重できるよう、そのためにスタッフがすることは何か話し合い考え続けていく。 ・医療的なことはかかりつけ医に相談している。日常的にはじよくその予防や嚥下、梗塞の予防などのサポートをしている。重度化を少しでも遅らせ、その人が生きていけると実感できるようなケアの模索をし、また体調の変化に気づく力やスキルアップに努める。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・定期的に緊急時対応について研修がある。スタッフルームには緊急マニュアルが貼ってあり、職員は常に確認している。救命救急の講習を随時受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署と近隣に協力を得て、利用者も参加し、年2回の避難訓練を実施している。日常的には避難経路の確保に努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・おひとりおひとりを尊重する言葉かけを心がけている。耳が遠くなった方への配慮や他者同士の関係にも配慮して、言葉や内容を考えて対応している。 ・記録等、個人情報ものは整理を心がけ施錠して管理している。 ・排泄誘導、入浴の配慮には、気をつける。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ゆっくりはつきり話しかけ、ご本人の返事を待つことを心がけている。何がしたいか、何を希望しているかをご本人が表現しやすいように声のかけ方を工夫したり、具体的なものがある時には提示して選択してもらえるようにしている。またメモを書いて渡して、じっくり考えてもらったり、必要に合わせた伝達の仕方工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・体調や天候なども考慮しながら散歩、買物、入浴など希望に添うことを優先している。居室で過ごしたい方には訪室して、安心して過ごせるよう声掛けを行っている。お一人お一人の生活ペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・入浴時に着る物を選ぶなどして好みを大切にしている。美容師さんに髪をカットしてもらい鏡を見て喜びの笑顔がある。食べこぼしなどで衣類が汚れた時は速やかに着替えを促し気持ちよく過ごしていただけるようにしている。たくさんの洋服をもってきているので着て欲しいというご家族の希望もあり、心がけて着替えてもらっている。気分転換にもつなげている。		

長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯の固さを入居者様の好みに合わせ柔らかくしている。 ・野菜なども柔らかくしており、必要な人にはお粥やミキサー食など、咀嚼や嚥下の力に合わせた調理をして、口から食べられることを大切にしている。 ・野菜を切ったり、食器の洗い方、片付け方など経験から教わることも多く一緒にしながら会話をひろげている。 		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べ量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量のチェックにより、食欲や体調の変化にも留意している。そしゃくや嚥下の力の低下している方にはミキサー食やおかゆを提供している。 ・ゆっくり時間をかけ介助し誤嚥を防いでいる。1度に多く食べられない方には医師を相談し栄養剤(ラコール)を飲んでもらっている。お茶などもゼリー状にしてのみこみを楽にし、水分量をチェックし、排尿量と対比している人もある。夜間時にも必要に応じて水分補給をし脱水予防をしている。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食後洗面所へ誘導し義歯洗浄、うがいを促す。できる方にはコップ、歯ブラシ、洗面器などを用意をして声かけをして行ってもらう。介助により行う方もある。口腔ケア後は気持ちもさっぱりしている。 ・寝たきりの方には口の中に食べ物がのこっていないかを確認し、誤嚥防止にも繋げている。 ・うがいのむずかしい方もおられ、どのようにして清潔を保つか口腔ケアの方法を学んでいきたい。 		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄された時間をホワイトボードに書いて状態を堆肥しながらトイレ誘導を行ったり一人一人のパターンを観察しながら気持ちよい排泄の援助に努力している。身体的な重度化によりパット類の使用がふえているが使用方法もお一人お一人に合うように工夫している。 ・パット類を使用された方も自立に向けた支援を続けている。排泄の介助にとらわれることなくできることやしたいことを大切にしている。寝たきりの方にもポータブルトイレの介助をして気持ちの良い排泄を促している。オムツかぶれなどに注意をしている。 		

長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分の補給を促している。またバナナをジュースにしたり、ホットミルクなどを提供したりしている。適度な運動を促す。 ・医師に相談し、緩下剤を服用している方もある。腸の動きがよくなるように体を温めたり腹部マッサージを行ったりしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・体調や生活ペースを考慮しながら、ご本人の希望に添えるよう、時間やタイミングを考え、気持ちよく入浴していただけるよう工夫している。体調により清拭、足浴、手浴で対応することもある。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・入眠までに水分を摂ってもらったり足浴をする方もいて穏やかに入眠していただけるようなかかわりをもっている。 ・添い寝の必要の方もあり、より添い安心感へとつなげている。布団に横になることの理解が困難な方には一つ一つの行為を一緒にしながら安心できる声かけと共に入眠できるよう援助している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・お一人お一人の薬の内容に理解を深め薬局からの薬の説明プリントなどを読みかえし副作用についても把握に努めている。薬の管理を行い確認チェックを行う。症状に変化のあった時には医師に連絡し、相談指示をおおぐ。処方が変わったときには注意をして観察をし、変化のあった時にはかかりつけ医に連絡をする。誤飲や飲み残し、また手からこぼれないように服用を見守る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の興味やできることの把握につとめ楽しみをふやす工夫をしている。散歩、ドライブ、しりとり、歌などレクを行う。参加を促し気分転換を促している。書道の会、絵の会なども楽しむ。新聞を読む方もおられ、記事を話題にしながら、地域や社会とつながっていることを共に大切にしてい。前向きな生き方には学ぶものも大きい。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・桜を見に行く、紅葉がりに行くなど季節ごとに外出、ドライブに行く楽しみをもつ。ドライブでは住まれたいた家の周囲を回り思いを深められることもある。買物に同行し、気分転換や楽しみにつなげている。外食には計画を立てて行くことができ笑顔がみることができた。		

長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷(もみじ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご自身では管理ができなくなり管理の依頼があるが、使われる際にはすぐに応じ買物に同行する。自由な雰囲気を保ち楽しみの支援を続けている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご家族や大切な方からの電話をとりつぐ、また希望があればかける手伝いもしている。 ・手紙を書く気持ちは大切にし、職員も一緒に手紙を書かれる時間を静かに見守っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節感を感じていただける雰囲気作りを心がける。レクリエーションで作品を製作し、リビングの壁画に飾って楽しんでいる。 ・会話を広げ自信や居心地のよさにつなげている。トイレ使用後は清潔感を保ち、臭いにも配慮していきたい。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファの位置をかえたり座る場所を配慮して安心できる居場所づくりや利用者同士のつながりや安心した関係を保てるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご本人が今まで使われていたものを持ちこんだり写真を飾っていただいたりして自由に居心地よく過ごしていただけるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室の出入り口には手すりが設置され廊下にも手すりがあり歩行の助けとなっている。 ・居室の入り口がスロープになっているが滑り止めテープを貼り転倒防止に努めている。 ・浴室の入り口の段差があり狭さとともに車いすでの介助に工夫が必要となっている。 ・現在工事中の浴槽ができあがるのを楽しみのしている。安全、安心に入浴していただき、ゆったりした時間の提供につなげていく。		